

# 平成 29 年度 事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

## 【平成 29 年度の基本方針】

平成 29 年度は、公募事業である「日本ジュエリー展」の応募要項の発表時期を従来に戻し、2 年に亘って行なうこととする。よって今年度は募集及び審査年度にあたり、募集方法、巡回都市、展覧会場、審査員等を決定し、年度後半には募集及び審査を行う。

育成事業の JJDA 講座は、従来の講師による講演型のセミナーに加え、若年層へジュエリーデザインの普及啓発を図る体験型の講座を各地で開催する。

展示・発信事業では、会員による展覧会を開催するとともに、本年度も情報発信として SNS 等を使った迅速な発信方法を改善し、また、来場者へのアンケートなどを通して事業内容を充実させ、継続して全国で実施する各事業への参加者の増加、普及を図る。

## 【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業 (公益目的事業 1)】

1964 年創立当初から概ね隔年で 29 回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品を公募し、審査・表彰することにより我が国ジュエリーデザインのレベルアップを図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。

平成 29 年度は、募集と審査を行なう「準備年度」である。翌 30 年度は、応募の実作品の中から各賞の作品を選び表彰し、さらに入選作品展覧会を通して本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図る。

### (1) 応募要項発表・審査・表彰

平成 29 年秋に「第 30 回公募 2018 日本ジュエリー展」の応募要項の発表を行う。ホームページ掲載をはじめ全国諸機関への告知、プレスリリース、応募説明会の実施等により、全国へ広く公募を行う。

応募締切りを平成 30 年 3 月初旬とし、3 月中に審査を実施して、終了後速やかに応募者に審査結果を通知する。受賞作品については、記者発表ほかホームページで発表する。

- ・主旨：「ジュエリーの持つ役割は時代とともに進化していきます。新しいデザインや素材の魅力、それを引き出す確かな技術は、一般的な装身具の枠を超え一つの文化として人の心を飾ります。心を動かすジュエリーの可能性を秘めた作品を公募します。」

#### ・応募内容及び表彰

「第30回公募2018日本ジュエリー展 JAPAN JEWELLERY COMPETITION」

応募部門：・一般部門 ・under26部門(26歳以下の応募者対象) ・JJDA会員部門

応募作品：実作品

表彰：大賞／優秀賞／一般部門賞／under26部門賞／JJDA会員部門賞／審査員特別賞／奨励賞／他

### (2) 展示発表の諸準備

- ・平成30年度に実施する受賞作品及び入選作品の展示巡回会場を検討し準備を行なう。

### (3) 主催、後援等

- ・主催 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会
- ・後援(申請予定) 経済産業省、文化庁、公益財団法人、公益社団法人、一般社団法人等
- ・協賛 本事業に協賛協力する各企業、学校法人等

## 【Ⅱ ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業2）】

ジュエリーは生活に潤いを与え活性化させ、さらに心の拠り所として改めて人々の関心を集めており、生活に果たす役割などを研究する価値は大きい。

一般初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を高める。中級者へは、ジュエリーの歴史、文化に関する専門家による講演会を開催し、知識を深めることにより、最終的にプロへの道を拓くべく人材育成のステップアップを図るとともに、ジュエリーデザイナーとしてのスキルアップを図る。

また、各展覧会会場に於いてアンケート調査を実施し、これからの日本のジュエリーのあり方を探っていく。国際的課題である知的財産権に関しては、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、デザイン価値の重要性を社会に発信していく。

### (1) セミナー・講演会

ジュエリーの文化、発達史をグローバルに研究する専門家を招いて講演会及び初心者向け体験講座並びに技法の実技講座を行なう。また、これら JJDA 講座については、ビデオ等で記録し、データ構築を行って、公開の準備を行う。

① JJDA 講座 2017 開催予定（検討中） 会期 平成 29 年冬頃 会場 検討中

② JJDA 講座 2017 全国各地域における実技・体験講座

・東日本地区 「ジュエリーの撮り方の基本」テクニックセミナー

会期 平成 29 年 9～10 月頃 会場 仙台市 講師 カメラマン 募集人数 約 10 名

・中部地区 「錫によるジュエリーの制作」

会期 平成 29 年 5 月 20 日、21 日 会場 鬼頭正信氏工房（愛知県大府市） 講師 鬼頭正信氏

募集人数 20 名（10 名×2 回）

・近畿地区 「レーザーによる溶接、体験等の講習会」炭酸ガスレーザーによるアクリルカットの体験講座

会期 検討中 会場 夢次元空間彫金工房（宝塚市） 講師 JJDA 会員

募集人数 10 名

・西日本地区 「卒園コサージュ手作り体験」講習会

会期 平成 30 年 1 月 20 日 会場 かやのみ保育園（福山市） 講師 JJDA 会員

募集人数 園児 30 名

・西日本地区 これまでに開催してきた銀線アクセサリ講座の中から開催予定

会期 検討中 会場 放課後等児童デイサービス「きらり」（広島市） 講師 JJDA 会員

募集人数 検討中

### (2) 知的財産権の研究と推進

意匠権、著作権などジュエリーデザインにおける知的財産権に関し、その重要性を啓発する。

①事務局保存の創作保全に関する資料の見直しと改訂版の作成

②ホームページ上において公開し普及推進する。（継続）

③メルマガ等にて継続的に記載し啓発する。

日本デザイン団体協議会（D-8）／デザイン保護研究会への共同参加事業として、「D-8 デザイン創作証」運用継続を推進し、社会への普及を図る。

### (3) 講師派遣の実施

自治体、企業、団体、教育機関等及び海外からの要請に対応し、会員を講師として派遣してジュエリーデザインに関する講義や実技指導を行う。

### **【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業（公益目的事業3）】**

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図ることを目的とする。

日本のジュエリーデザインの世界への発信を、さらに拡大し充実させるため、海外情報の収集と JJDA からの情報発信を推進し、交流を図り、国際相互理解の促進に努める。

機関誌の発行及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般に提供し、訴求活動を行う。

#### (1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

① JJDA に所属する正会員、名誉会員による展覧会を企画実施する。

会期 平成 29 年 11 月～12 月頃 会場 代官山ヒルサイドテラス（予定） 出品者 100 名

#### (2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、アジア、欧米の諸機関とのネットワーク形成を推進し連携を図る。

ホームページ等を中心とした協会及び日本のジュエリーデザインに関する情報資料を充実させ、相互リンクの拡大を図るなど、情報の発信の体制を構築する。

##### ① シャロン・クランセン氏交流講演会

アメリカ在住でコンテンポラリージュエリーのキュレーターとして世界的に知名度のあるクランセン氏の交流講演会を開催する。

会期 平成 29 年 8 月～9 月頃 会場 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター（予定）

講師 シャロン・クランセン氏

#### (3) 情報発信

機関誌及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供する。

機関誌では、事業の詳細な報告を、ホームページではタイムリーに公募事業のインフォメーション、各 JJDA 講座、展覧会等の開催に関する情報を提供、発信する。SNS の活性化を図る。

① 機関誌「JJDA2018 No.52」A4 版 約 32 頁 平成 30 年 1 月発行

② JJDA ホームページの運営を充実化（継続）<http://www.jjda.or.jp>

③ ジャパンジュエリーフェア 2017 における協会広報ブースに出展し、協会事業を公知する

④ プレスリリースによるメディアへの働きかけ強化

⑤ ジュエリーデザインに関するデータベース構築

⑥ JJDA パンフレットの改訂 和文・英文

### **【Ⅳ その他事業】**

#### (1) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活発化し、長年在籍する会員から若年層への創作技法の伝承、見学会などを通して情報交換を行う。

① 関東地区 篠原まるよし風鈴店（予定）体験セミナー（東京）

② 近畿地区 ヒスイ採取の研修旅行（新潟）・大阪造幣局見学会（大阪）

③ 写真のクオリティーアップを目指したジュエリー作品のデジタル写真講座（東京）

④ 会員相互の交流づくり

(2) 国際公募展に向けての検討

平成 32 年の開催を目指し、調査及び諸準備を進める。

(3) 会報「FROM JJDA」及び「メルマガ from JJDA」発行 年 12 回 事務局編集・発行

各委員会（部会）、事務局よりの事業準備及び報告情報を会員へ速やかに伝える。

(4) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

① 日本デザイン団体協議会（D-8）への参加

D-8 運営会議、デザイン保護研究会、及びジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会等への参加

② 中部デザイン団体協議会（CCDO）への参加

CCDO 理事会、交流委員会等への参加

③ 国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

**【V 管理等】**

(1) 会議開催

① 総会開催 平成 29 年 5 月

② 理事会開催 平成 29 年 4 月、7 月、10 月、平成 30 年 1 月

③ 部会長会議・事業部会合同会議・委員会及び部会会議

・全国 5 地区部会及び事業等の各部会部会長による会議開催。年 1 回

・各委員会及び各担当による会議開催。計 年約 60 回

(2) 諸規定の整備

(3) 会員情報管理（継続）

(4) 会員章碑の作成（継続）

(5) JJDA 講座の DVD 貸出

(6) 協賛店の整備と拡大

(7) 正会員・賛助会員入会促進の検討

(8) 一般への情報提供サービスの検討

(9) 予算書・決算書作成

(10) 会費納入の徹底

以上